

名古屋大学微細構造解析プラットフォームをご利用のみなさまへ

日頃は、名古屋大学微細構造解析プラットフォームをご利用頂き誠に有難うございます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症に際し、名古屋大学微細構造解析プラットフォームでは、本事業を行う超高压電子顕微鏡施設の顕微鏡等の利用が9月7日時点で緩和され、以下のような対応でご利用いただくことになりました。

外部利用者につきましては、「技術代行」を優先し、利用者の方々から試料をお送りいただき、当事業職員が観察するという方向で対応を進めています。立ち合い観察、実技講習については、以下の名古屋大学の「学外者の入構規制」により、個々に対応します。特に、リスクの高い地域からの利用者は、状況を鑑み対応いたします。

レベル 1 ➡ 感染防止措置の上、入構可 ただし、入構した場合でも大学滞在は最短時間とする

尚、愛知県内の機器利用者（すでに講習を受け、ご自身で装置を操作する方）につきましても、利用者の所属機関の新型コロナウイルス感染症対策をご提出いただき、精査後、当施設の利用許可証を発行します。

また、マスクの着用、手指消毒、各装置の入室人数制限、入室記録は引き続き行って参ります。

利用の相談等につきましては、メールまたは HP のお問い合わせフォームからお願いいたします。

お問い合わせフォーム：<https://nanoplat.nagoya-microscopy.jp/mailform>

メール：nanoplat@nagoya-microscopy.jp

皆様には、研究や教育活動に多大なご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解をお願い申し上げます。

利用基準に関しましては、国、県、大学の方針に従い、研究者・技術者の皆様に安全に利用していただくことを確認し、随時、HP 等でご案内いたします。まずは、お問い合わせをお願い申し上げます。

皆様のご健康をお祈りし、いち早く、新型コロナウイルス感染症の収束をお祈り申し上げます。

文科省ナノテクノロジープラットフォーム 名古屋大学微細構造解析プラットフォーム

実施責任者 山本 剛久